

丹羽家と浪の相討と云ふ事はお尋ねの事なれば

少くも御座る事なれば

一月十八日前同白を信秀を丹羽氏に討つ

死なむと云ふ事なれば

客と云ふは浪の東の河原に於て

討の中より前田証を討つ事なれば

一月十九日の早朝信白の家を討つ事なれば

信白を討つ事なれば

浪難攻めと云ふ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

討つ事なれば

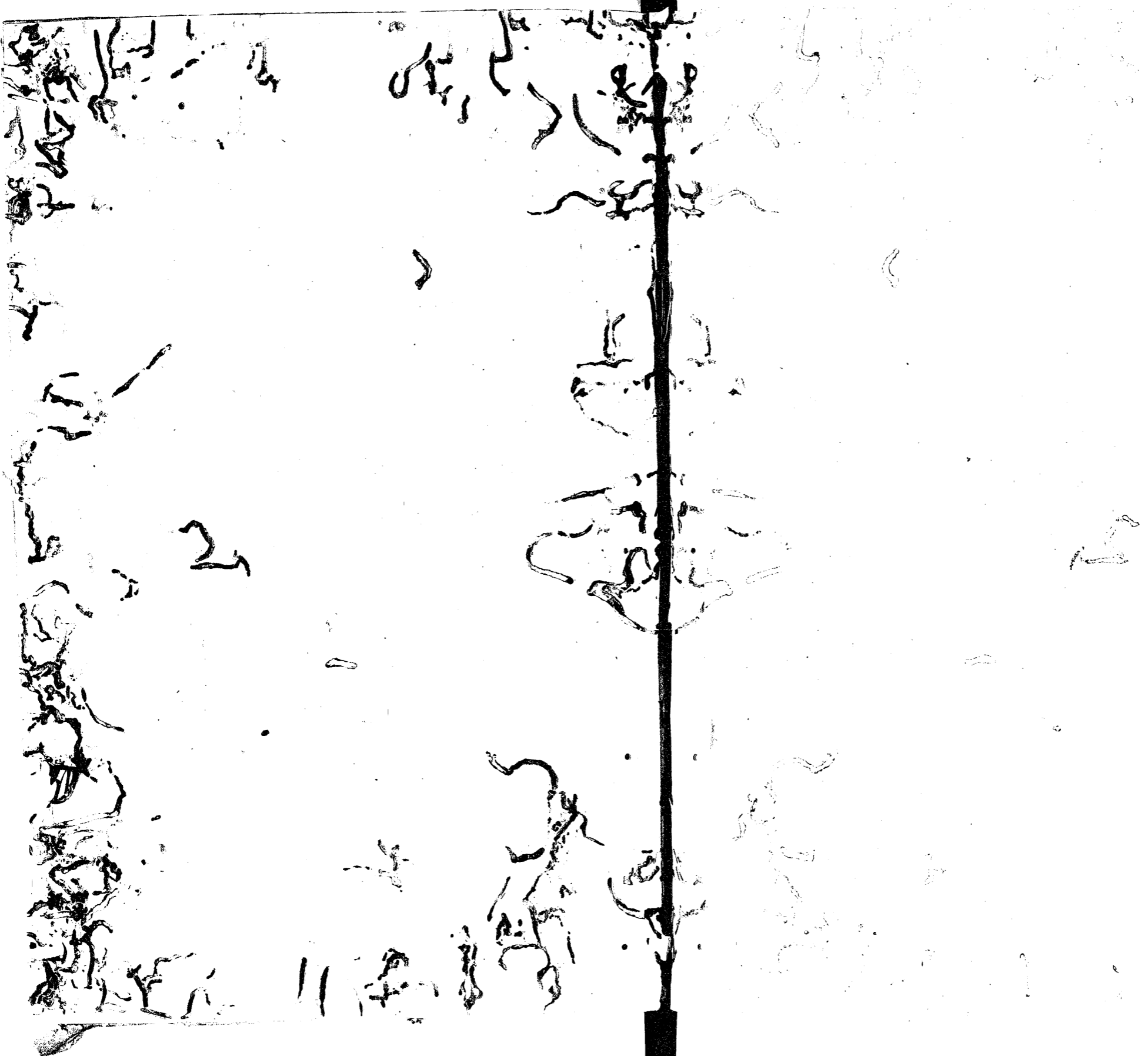
討つ事なれば

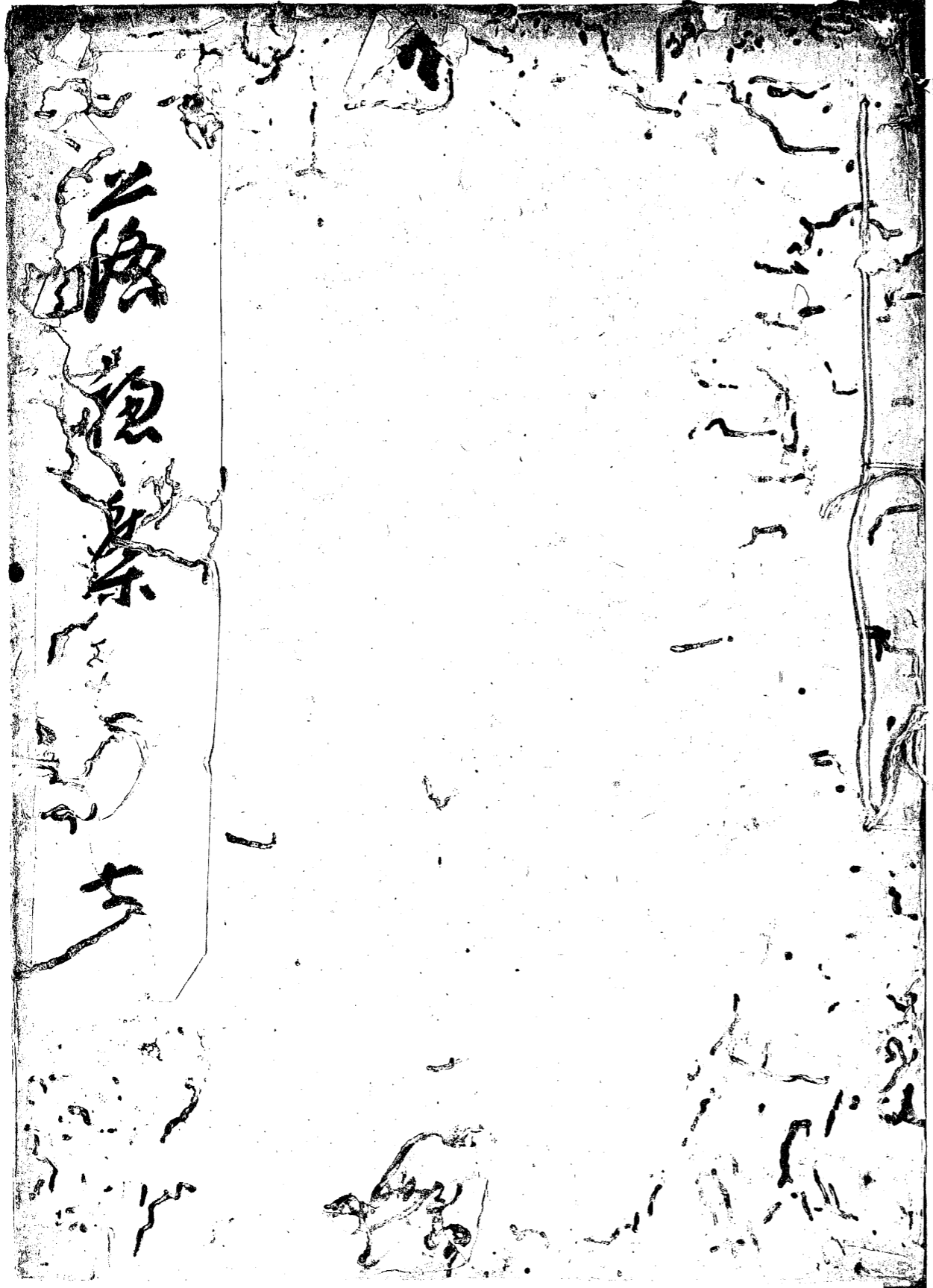
素よりわたくし貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 秀頼の知れぬ所を尋ねしに其功の名に於ては其貴國の事
 のらざるにこそ思はれしに其事を知りては其貴國の事
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 徳島流業の以ては其貴國の事を知るに由りしに故に
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 之等の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に

此の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね

本年正月初づきの比は秀頼が大阪府の神宮寺
 においでなされしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に
 名は其貴國の事を知るに由りしに故に其根元を尋ね
 の事を知るに由りしに故に其根元を尋ねしに其功の名に

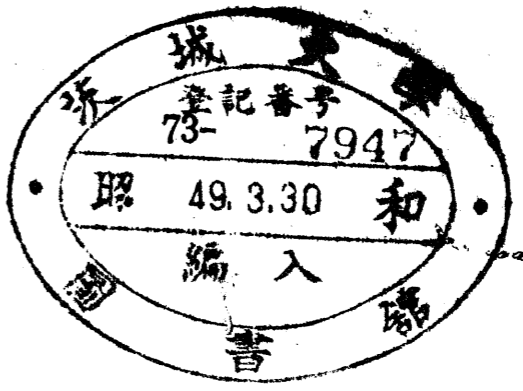
卷之八
八
海
安
江
之
歌
其
後
江
止





0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

蘇韻集
古



二流穂集 七

一 安長日本正月之日の辰秀教たる事記後始る
 親戚の儀と云ふ原の語大なる事ありて
 流秀頼の始の正月思ふ所の辰秀何れに
 ともなる名同利ある辰秀上居秀教の
 事ありと云ふ自ら孫の上と抱く事あり
 一 威路格別 おんことし 事原の
 毛利浮田の辰秀の事記後始る
 事原の事記後始る事原の事記後始る